

「デルタ株」感染拡大に伴う9月からの対応について

「デルタ株」が急激に感染拡大し、これまで感染しにくいとされてきた子どもへの感染が増えてきています。このような状況をふまえ、TOMASでは従来からの感染防止対策を改めて徹底した上で、対面授業を継続実施いたします。

8月には講師・生徒・従業員・家族を対象としたワクチン職域接種2回目も完了し、さらに安心安全に配慮した学習環境が整いました。生徒の皆さんの安全を守りつつ学習環境を維持するため、より一層の緊張感をもって感染防止対策を徹底してまいります。引き続きご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

TOMASの新型コロナウイルス感染防止対策

- 【1】不織布マスク着用・入室時のアルコール消毒・検温の実施
 - 【2】講師は不織布マスクおよびフェイスシールドを着用
 - 【3】講師と生徒の間に大型ビニールカーテンを設置
 - 【4】高さ190cmの防御壁に囲まれた個別ブース
 - 【5】個別ブース内の定期的な消毒・常時換気
 - 【6】講師は個別ブースにて待機(講師同士の感染防止)
- さらにワクチン職域接種2回目を完了(講師・生徒・従業員・家族約10,000名)

なお、上記の感染防止対策を講じたTOMASの校舎は、保健所による調査の結果、濃厚接触者の出ない環境であるとの通知を受けております。お子様の発熱などご心配なことがありましたら、教室までご相談ください。

以上

今後の状況により対応を変更する場合は、TOMASホームページにてご案内します。

<https://www.tomas.co.jp>
